

ひらひら 歯科クリニック

新聞 2012
5月号

歯周病の検査を
しましょう!!

今や、日本人の8割になんらかの症状があるといわれている歯周病。
とはいっても、ほんとに症状を自覚するのはかなり症状が進んでからで、
おかしいなと思って歯科医院に行った時は、歯を残せないくらいになっていたり
します。そこで、なんともないときに調べるのが重要になってきます。
今回は当院でおこなっている検査を紹介します ↓

顕微鏡検査

お口の中の磨き残しをほんの少し(つまようじの先くらい)取って、唾液と一緒にガラスの上に置いて、顕微鏡で観察します。

歯周病の場合は特徴的な何種類かの菌が多く見られます。
活発に動いている菌もありますが、カビの菌は動きません。

この検査は、当院では5年程前からおこなっていますが、検査は
痛くなく、わかりやすいので多くの方に受けていただいています。



©NAN

歯周ポケット検査

歯周病の方は歯の周りに溝ができて少しずつ深くなっていきます。その溝の深さを測って進行の具合を調べ、4mmを超えると要注意です。

8mmを超えたら、保存するのは難しいといわれています。昔からおこなわれている最も一般的な検査法です。全体を調べて数値の説明をします。

レントゲン

パノラマ撮影によるレントゲンを撮影して、歯の周りの支えている骨の状態を調べます。

一度に状態がわかるのでよく使っています。

歯ブラシ (つまようじ法)

歯ブラシが検査???と思われる方も多いと思います。歯周病の状態を知るには、歯ぐきからの出血の有無を調べるのが大変重要になってきますが、一番でとり早いのが歯ブラシを試みることです。スタッフから「つまようじ法」でブラッシングをするとほとんどの方は程度の差はありますが出血してきますので、それで歯ぐきの状態を判断します。

当院ではV7歯ブラシを最初から差し上げて衛生士が検査をかねてブラッシングをしています。

以上、4つの検査をご紹介しました。

痛みも少なく、その日のうちに結果がわかるものばかりです。
是非これらの検査を使って、歯周病予防に役立てていただきたいと思います。

こんにちは☆ デンタルアドバイザーの
●●●●●●●● 山中 優美です!! ●●●●●●●●

先日、熊本にあるグリーンランドに行ってきました
小さい頃に行きかけたので、初めて行く感じでワクワクでした♡
ジェットコースターとかおぼけ屋敷とか、犬などの小さい動物園みたいなものがあって楽しかったです!!
でも休日だったので人がすごく多くてびっくりでした(´д`)
次はドイツに旅行しようと思います♡
私はいつも計画を立てるので、次はちゃんと計画を立てて旅行しようと思います♡
今年もいろいろと出かけて、いっぱい思い出を作ります♡ (w・)ψ"

ひらい歯科クリニックは
5月6日で 満19歳になりました~!!

開業以来多くの患者さんにご支持いただけてきました。
二度の改装を経て診療用チェアは4台、予防専用チェアが1台
位相差顕微鏡、口腔内撮影専用カメラ、写真分析用ソフト、
レントゲンのデジタル化、カウンセリング室の設置、など様々な
取り組みを行ってきました。
これから皆様の健康を守るためにチャレンジしていきたい
と思っています。

